

俺たちの年金を博打に使うな！

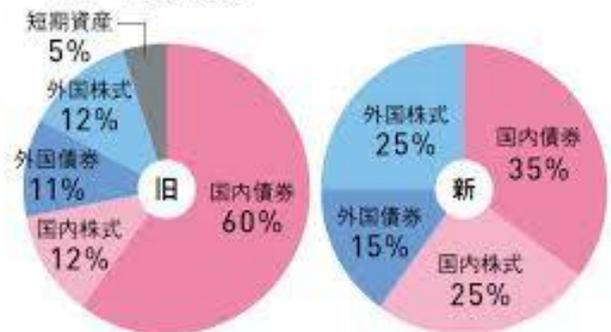
「アベノミクス」に活用された年金基金が暴落！

新聞報道によると、国民年金と厚生年金の積立金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人は、7月から9月期の運用結果が7兆8819億円の赤字を出したことを明らかにした。それは、自主運用を始めた2001年以降で最大の赤字額となった。

その原因は、安倍政権が株式市場の活性化をはかるために、これまで年金積立金の運用の割合を国内債券が60%を占めていたものを、株式への運用を5割まで増やしたことによる。つまり国民の大切な年金を、国民に相談もなく、ハイリスクハイリターン株式に投資していたのである。

それはアベノミクスによる人為的な株価上昇のための手段として活用したことを意味する。実際、年金基金は126兆円あり、その中から国内株に25兆円をつぎ込んでいる。東証一部一日の株式売買代金が2兆円手前とされていることから見れば、その金額がいかに巨大なものかが分かる。

図2 GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) のポートフォリオ



庶民の年金がハゲタカ外資に持って行かれる？

こうした事態に年金機構の三石博之審議役は「長期的な観点から見れば安定的に収益を得てきている」と釈明している。しかし株は「博打」と同じであり、一時的に儲けることがあっても、全ての財産を無くすこともある。ましてや日本株の30%以上が海外投資家であり、いわゆるハゲタカ外資ファンドに根こそぎ持って行かれる事態も想定される。ちなみに米国では年金積立金の株式運用はやっていない。

そして国家公務員共済年金は、「国内債券」への投資が74%と安全運用に徹している。なぜ、庶民の年金だけリスクの高い運用なのか。つまり「自分たちの年金は堅実運用し、庶民のカネはギャンブルに注ぎ込む」というものだ。

安倍政権は戦争法案のみならず、私たちの大切な年金を何の相談もなく「博打」に注ぎ込んでいる。私たちは「アベ政略を許さない！」という声をあげなければ、私たちの未来までも奪われてしまうのです。